



やけみ報

今月の人口
人口 3,432人
世帯 1,760世帯
(3月1日現在)
編集 三宅村総務課
☎ 03 (5320) 7824



平成15年第1回定例会が開催されるにあたりまして、村政運営に対する所信の一端を申し述べたいと思います。

島民の方々には全島避難から3回目の正月を迎え、2年7カ月が経過いたしました。火山性ガスの放出量は最盛期の6分の1程度になりましたが、依然として

続いており、都会で不自由な生活を強いられがらば、敬意と感謝の思いでいっばいです。

さて、全国公募で選択する昨年世相漢字は、「帰」となり、「帰る」「帰らない」に一喜一憂し、帰郷現象が巻き起こる中、原点到帰る大切さを実感した「原点回帰」の年、全島民および私と一致する願ひでもあります。

一方、国の方では構造改革、デフレ対策、構造改革特区、年金改革と歳出の見直しを徹底しており、この先不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、平成15年1月21日、気象庁は「三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会統一見解」で「三宅島では依然として山頂火口から二酸化硫黄を含む火山ガスが放出され続けていますが、二酸化硫黄の放出量は一日あたり3千〜1万トン程度となり、その量は減少してきています。島内の地殻変動は収縮率が小さくなり、静

帰島に向け最大限準備

長谷川 鴻村長が所信を表明

生活再建などを柱に帰島計画

隠期に見られるわずかな膨張に転じた」と発表しました。

また、帰島の判断基準のポイントとなると思われる三宅島火山ガスに関する検討会中間報告(概要)も発表され、今後検討会では中間報告で得られた火山ガスの特性に加え、火山ガスと健康に関する国内外の知見を踏まえ、帰島後の健康被害を防ぐための安全確保対

策などについて検討を進め、14年度末を目途に帰島のための判断材料を示すことになっております。私としても、これらの情報等を収集し、国、東京都、関係機関はもちろんのこと、議員諸兄と十分なコンセンサスを得ながら帰島の目安を早期に判断をいたします。

私が昨年約束いたしました三宅村総合計画(平成14年度から平成23年度)復興計画が策定されました。三宅村民の生活再建を最優先とした計画とする「生活再建編」、火山をはじめとした島の自然と三宅島で培われてきた文化、伝統を生かして、世界に誇れる観光地とするための「地域振興編」、噴火などの災害に備え、災害に強い

するのに必要な期間、これに対する準備支援策等を実施してまいります。

①：三宅島噴火災害帰島計画について

②：三宅島寄港便(滞在型帰島)および(日帰り帰島)実施について

島民の帰島に備え、島民の安全を第一として円滑な帰島と生活再建を実現するために最終計画を策定します。避難の長期化により帰

の事業に合わせ、従来から実施してきた日帰り帰島もこの4月から実施します。

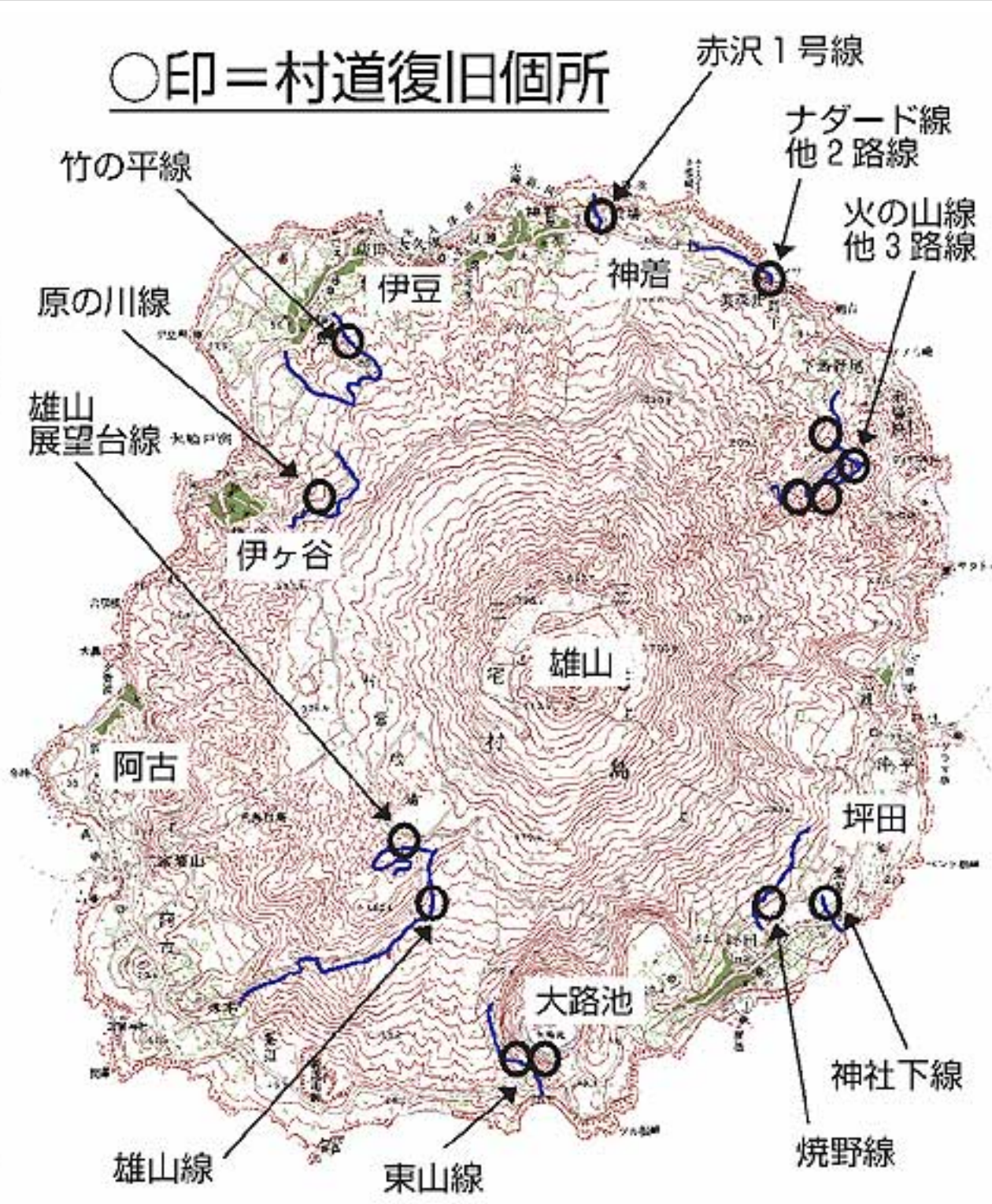
③：防災体制の強化について

三宅村区域激甚災害に

3月7日 災害復旧補助アップ 閣議決定

平成15年3月7日の閣議令を決定しました。これにより、今回の噴火から平成14年までの間の火山現象による東京都三宅村の区域に係る激甚災害の指定およびこれに対し適用すべき措置の指定に関する政

援助を受けることとなりました。激甚災害制度とは、国民経済に著しい影響を及ぼす大規模な災害が発生した場合に国が定める基準により「激甚災害」に指定し、地方の行う災害復旧事業に対する国の補助率のかさ上げ等、財政上の助成措置をする制度です。



年度東京都は三宅島の災害対応策として、教育面では三宅島の児童、生徒の受け入れ、三宅高等学校補修工事、貸付金の無利子他に伴う軽費(生活福祉資金・災害復旧資金)、災害復旧資金、観測体制の整備、自然環境調査費、生活環境面から堆(たい)積土砂排除事業費補助、災害公営住宅整備事業費補助、道路河川の

災害復旧、農林水産等の災害復旧および産業振興、さらには「三宅島災害復旧復興特別交付金」など、2年連続6兆円割れと厳しい「財政再建推進プラン」の中から財源確保を図っている。ただ、15年度においては21億円を計上し引き続き島の復旧復興に向けた取り組みを着実に推進していただき、これにより災害対応経

費は累計で20億円となり、援をいただきながら帰島に向け、全力を尽くしてまいります。一方、三宅島の財政状況を申し上げますと噴火による村税収入は避難前と比較して58・8%の減となり、一段ときびしい状況が続いております。

(2ページへ続く)

国民年金の金額免除と 学生納付特例制度について

平成14年度から国民年金の金額・半額免除の承認期間は7月から翌年6月までと変更しております。学生納付特例についてはこれまでと同様です。

平成14年4月から翌年3月までとなっており、なお、15年度免除申請を希望される人は7月、8月中に、学生納付特例を希望される人は従来通り4月、5月中に手続きをしてください。

マイ・タルキ・コーポラ等)を自宅まで配達します。

資材の注文を希望される人は必要となる資材、配達希望日、配達場所など詳細を出発日の3日前までに電話かFAXでご連絡ください。

その他費用など詳細についての問い合わせは三宅島職工組合まで。

▽三宅島職工組合 ☎042(529)1055・042(529)1080

職工組合からのお知らせ

三宅島職工組合では滞在型住宅の実施に伴い、ご自身で家屋修繕をされる際必要となる資材(トタン・コ

Q 20歳のときに加入の手続きをしないまま25歳までできてしまいました。今から加入しても大丈夫ですか？

A 老齢基礎年金は20歳から60歳になるまでの40年間に保料を納めることにより満額を納めることにより満額の年金を支給します。このため、未加入や未納によるあなたの場合、残念ながら

国民年金Q&A

みなさんの国民年金Q&A

▽お問い合わせ先 三宅村 村民課住民係 ☎03(532)7829、港社会保険事務所 ☎03(5401)3211。

福祉の窓

障害者の手帳について

障害の内容によって各障害者手帳が交付されます。手帳の所持者は各手帳に基づき手当や医療助成、また税金の控除や運賃、通行人などの割引などがあります。

1、身体障害者手帳
目、耳、言語、肢体(上肢、下肢、体幹)、心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこうおよび

直腸、小腸、免疫機能に障害があり、日常生活に支障がある人が対象となります。障害の程度により1級から6級まで区分されます。

2、愛の手帳(療育手帳)
児童相談所または心身障害者福祉センターで、知的障害と判定された人に交付されます。障害の程度により1級から3級まで区分されます。

3、精神障害者保健福祉手帳
対象者は精神疾患を有する人のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活が困難で、社会生活への制約のある人です。障害の程度により1級から3級まで区分されます。

精神疾患とは精神分裂病、そううつ病、てんかん、中毒性精神病など。

各手帳の交付手続き、制度についての問い合わせは三宅村保健福祉課 ☎03(5320)7827まで。

国民年金について

日本国内に住所がある20歳以上60歳未満の人は、何らかの公的年金に加入しなければなりません。加入する制度によって、次の3種類に分かれています。

★第1号被保険者

(自営業者および学生、フリーターなどの方)

届け出を必要とする内容	届け出方法	被保険者の種別	添付書類
会社等に勤めていない人や学生が20歳になったとき	本人が区市町村に届け出	第1号	印鑑
60歳になる前に就職して厚生年金、共済組合に加入したとき	※本人が区市町村に届け出	第1号→第2号	
配偶者の就職により健康保険・共済組合などの被扶養者となったとき	配偶者の勤務先を経由して届け出	第1号→第3号	印鑑・年金手帳・健康保険証・基礎年金番号通知書
収入が減り配偶者の加入する健康保険・共済組合などの被扶養者となったとき	配偶者の勤務先を経由して届け出	第1号→第3号	
住所・氏名が変わったとき	本人が区市町村に届け出		印鑑・年金手帳・基礎年金番号通知書
年金手帳の再交付を受けるとき	本人が区市町村に申請		印鑑・年金手帳・基礎年金番号通知書

※就職先の事業主が行う資格取得届により確認された場合は本人の届け出は不要です。

★第2号被保険者

(厚生年金保険、共済組合に加入の方)

届け出を必要とする内容	届け出方法	被保険者の種別	添付書類
60歳になる前に会社などを退職したとき	本人が区市町村に届け出	第2号→第1号	印鑑・年金手帳・退職年月日のわかるもの・基礎年金番号通知書
会社勤めをやめて配偶者の加入する健康保険・共済組合などの被扶養者となったとき	配偶者の勤務先を経由して届け出	第2号→第3号	

★第3号被保険者

(第2号被保険者に扶養されている妻または夫の方)

届け出を必要とする内容	届け出方法	被保険者の種別	添付書類
配偶者が退職したとき	本人が区市町村に届け出	第3号→第1号	印鑑・年金手帳・退職年月日のわかるもの・基礎年金番号通知書
収入が増え、配偶者の加入する健康保険・共済組合などの被扶養者でなくなったとき	本人が区市町村に届け出	第3号→第1号	印鑑・年金手帳・扶養喪失日のわかるもの・基礎年金番号通知書
配偶者が転職したとき、または配偶者の加入制度が変わったとき	配偶者の勤務先を経由して届け出	第3号→第3号(変更なし)	印鑑・年金手帳・健康保険証・基礎年金番号通知書
住所・氏名が変わったとき	配偶者の勤務先を経由して届け出		印鑑・年金手帳・基礎年金番号通知書

子育てひろば

『予防接種』受けていますか？

お母さんから赤ちゃんに、プレゼントした免疫は自然に失われていってしまっています。ですから、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。これに役立つのが予防接種です。

乳幼児の定期接種は、予防接種の予防効果と安全性の面から接種スケジュールが組まれています(母子手帳を参照)。この時期の早い段階で接種することが望ましいのですが、接種しなかったことに気づいたらその時点で早めに接種してください。

通知も発送しております。避難先市町村には三宅村の住民のみなさんが予防接種を受けられるようお願いいたしますので、まだ受けたいいない予防接種がありましたら、避難先の予防接種担当窓口にお問い合わせください。

お子さんは別表の通りです。避難先の区市町村で実施日を確認のうえ、受診してください。

母子手帳を受け取ったときに年間予定を配布している区市町村もあります。別表の健診と6、7、9、10カ月健診を自己負担で受診された人は、「健康診査受診費支給申請書」と「領収書」を保健福祉課に提出していただければ、費用は三宅村で負担いたします。

定期接種は公費負担となります。自己負担で接種された場合は「予防接種費支給申請書」と「領収書」を保健福祉課に提出していただければ費用は三宅村で負担いたします。

予防接種費支給申請書が必要な人、問い合わせは保健福祉課係 ☎03(5320)7827まで。

お子さまの健やかな成長のために予防接種を受けましょう。

今月の乳幼児健診と予防接種

今月の健康診査対象のお母さん

今月の乳幼児健診と予防接種

今月の健康診査対象のお母さん

(別表)

健康診査	対象誕生月
3~4カ月児	平成14年12月~15年1月
1歳6カ月児	平成13年5月~10月
3歳児	平成11年5月~12年4月

島の応援歌ができます

作詞 長谷川村長 『望郷の歌』
作曲 五木ひろし



制作にあたり回り握手を交わす知事たち

平成15年3月5日、歌手の五木ひろしさんと長谷川三宅村長が三宅島復興応援歌「望郷の歌」の制作にあたり、

自ら書き上げたものです。五木さんが「三宅島災害救援コンサート」に出演されたおり、そこでの真情あふれる歌唱に接したことから長谷川村長は「五木さんに歌ってもらえたなら」と思っていました。このことを石原知事に相談したところ、快く仲介の労をとっていただきました。また、打診を受けた五木さんも「災害に遭い長い避難を続けている島民皆さんの気持ちを考えて、とてもつらい事だと思う。歌手として皆さんの心の支えとなれば」と快諾をいただきました。この歌の制作については村長の書いた歌詞をもとに、五木さんが作曲することになっております。

平成15年3月2日東京都庁第2本庁舎にて共済および地震保険の取り扱いに関する住民説明会が開催され、10人が出席しました。会場ではJA共済連東京、(社)日本損害保険協会、東京都漁業協同組合連合会の各ブースに分かれ、担当者が説明を行いました。引き続き、加入者の皆さんの質疑応答が行われ、会場からは保険に関する質問のほか要望などの発言がありました。

取扱説明会を開く

加入者から質問や要望

疑問等は加入団体へ

共有と地震保険

火山灰プリントを作成

都立産業技術研究所

「火山灰プリント生産作業」写真が八王子作業所に引き続き、1月27日から2月21日まで東京都立産業技術研究所(東京都北区)で行われました。初日には開所式を行い、井上東京都立産業技術研究所長から島民に励ましの言葉をいただきました。その後、東京都立産業技術研究所講師の方々から使用する材料や型の種類、彫り方、刷り方等の指導を受け、作品づくりに入りました。



た。参加者の皆さんは初めての作業に真剣に取り組んでいました。出来上がった作品も「アカッコ」や「ガクアジサイ」など三宅島にちなんだデザインのものが中心で、同じ題材でも一人ひとりの三宅島に対する思いが印刷されています。今後はこの作品を活用して、イベント等で三宅島をアピールしていく予定です。

三宅村学校便り

(22)

希望を胸に10人巣立つ

三宅村立中学校は3月20日に卒業式を行い、10人の卒業生が希望を胸に巣立っていきました。

今年度は12人でスタート

平成14年度を振り返ってみると、4月に4人の新入生を迎え全校生徒22人でスタートしました。1学期は京都、奈良へ2泊3日の修学旅行(3年生)、総合的な学習の一環としての「げんき農場」体験学習、小中高合同運動会などを行い、夏には転出して生徒も参加して大島臨海教室を実施しました。2学期も小中高合同文化



義援金配布等状況調べ

平成15年2月末現在(単位円)

区分	東京都分	三宅村分	利息	計
収入	1,750,000,000	867,999,735	583,401	2,618,583,136
配布	1,957,570,000 (都村計)		-	1,957,570,000
残額	660,429,735		583,401	661,013,136

義援金ありがとうございました。(敬称略)

- ボーイスカウト南多摩 齋木 義則
- ハーモニカレディス・インコンサート 企画代表者 二見 則子
- 鹿児島上之園郵便局職員一同
- 角田 克己
- 東京都交通局西馬込乗務区釣部
- 古内 汎
- 秋元 敏勝
- 里見 和子
- つぎ野自治会 会長 伊藤 浩司
- 山崎 美代子
- 山中 幸子
- 松田 治
- 匿名
- 菅田 朋之
- 東京都収益事業組合
- 匿名
- 森山 千代野
- 出本 恒夫
- 真中 純子
- 北島 とき子
- 瀧澤 正子
- 高原 秀雄
- 浜田 ひろみ
- (株)ニッパン
- シノザキ ヤエコ
- (株)ユニカフエ
- 向原小学校代表委員会
- 大阪東天満郵便局長
- 矢山 靖久
- ニプロ(株)総合研究所 第2研究開発
- 松本 昌彦
- ヨシダ トモコ
- 峯島 茂雄
- 八重樫 京子
- 匿名
- 清水 等
- 林 清司
- ツチダ ワタル
- みずほ銀行
- 調布市立北ノ台小学校児童会
- 広段 隆
- サトウ キミヒコ
- ポプラ上野店
- 高橋 平兵衛
- 岡崎 弘
- (名簿は平成15年2月28日現在)

京臨時事務所 ☎03(578) 損害保険協会 ☎03(325) 3) 2181、(社) 日本 5) 1244。

慶弔だより

- 浅沼 保平さん(男)75歳 神着 1/31
- 佐藤 マス子さん(女)79歳 阿古 2/4